

令和元年度

9be 学園  
九州美容専門学校

自己点検・評価報告書

## 目次

### 自己点検及び評価項目

- 【 基準1 教育理念・目標 】
- 【 基準2 学校運営 】
- 【 基準3 教育活動 】
- 【 基準4 就学成果 】
- 【 基準5 学生支援 】
- 【 基準6 教育環境 】
- 【 基準7 学生の受け入れ募集 】
- 【 基準8 財務 】
- 【 基準9 法令等の遵守 】
- 【 基準10 社会貢献、地域貢献 】

### 評価基準の設定

評価基準（ 適切・・・4    ほぼ適切・・・3    やや不適切・・・2    不適切・・・1    ）

## 自己点検及び自己評価結果

### (1) 教育理念・目標

| 評価項目   | H30年度<br>自己評価 | R01年度<br>自己評価 |
|--|---------------|---------------|
| ① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか<br>(専門分野の特性が明確になっているか) | 4             | 4             |
| ② 学校における職業教育の特色は設定しているか                          | 4             | 4             |
| ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか                   | 4             | 4             |
| ④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか      | 4             | 4             |
| ⑤ 各学科の教育目標、育成人材等は、学科等に対応する業界のニーズに向けた方向づけがなされているか | 4             | 4             |

| 自己評価  |
|---|
| <p>学校の理念・目的・育成人材像を学校 HP に公表し、再度の徹底を図るように取り組んだ。要旨は下記の通り。</p> <p>■建学の精神：Passion for Life, Life with Beauty</p> <p>自らで生きるチカラ（自分に厳しく、自分を大切に。）</p> <p>人と生きるチカラ（人に感謝し、人に感謝され。）</p> <p>社会と生きるチカラ（社会に貢献し、社会に必要とされ。）</p> <p>■入学受入方針（アドミッションポリシー）</p> <p>当校の建学の精神、教育方針、及び卒業方針を理解し、その目標に向かって努力できる人材を受け入れる。</p> <p>①自ら率先して学ぶ意欲があり、努力できる人</p> <p>②相手の笑顔に幸せを感じ、感謝の心を持つ人</p> <p>③ 美容に興味を持ち、美容を通じて社会の役に立ちたい人</p> <p>■教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）</p> <p>幅広い教養と、美容知識・技術の主体的な習得を通して、社会人として求められる豊かな人間性を養成できるよう科目を編成している。</p> <p>①プロフェッショナルとして、必要な知識と技術を身に付ける為のカリキュラムとインターンシップを提供する</p> <p>②豊かな人間性を養うプログラムを提供する</p> <p>③課題を発見して解決する社会人基礎力と、社会における使命感を育成するプログラムを提供する</p> <p>■卒業方針（ディプロマポリシー）</p> <p>カリキュラムを履修し、美容の専門職として必要な倫理観・知識・技術・技能を有するとともに、自ら学び続ける能力と、社会・地域に貢献できる能力を備えたものに専門士を授与する。美容分野における専門職としての知識・技術を有し、</p> <p>①何事にも主体的に取り組むことが出来る能力を有している</p> <p>②豊かな人間性とコミュニケーション能力を有している</p> <p>③社会・地域に貢献できる能力を有している</p> |

## (2) 学校運営

| 評価項目  | H30 年度<br>自己評価 | R01 年度<br>自己評価 |
|---|----------------|----------------|
| ① 目的等に沿った運営方針が策定されているか                        | 4              | 4              |
| ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか                       | 4              | 4              |
| ③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確に具現化したり、有効な機能化を図っているか | 4              | 4              |
| ④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか                       | 4              | 4              |
| ⑤ 教育・財務等の組織整備など意思決定システムは、整備されているか             | 4              | 4              |
| ⑥ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか             | 4              | 4              |
| ⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                    | 4              | 4              |
| ⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                   | 4              | 4              |

| 自己評価   |
|--|
| <p>毎年、事業計画を策定し、学校運営、教育活動、就職活動、広報活動等の運営方針を提示している。</p> <p>具体的な指導内容、行事を年間スケジュールに位置づけ、数値目標等を詳細に掲げ、その執行体制を確保するための研修計画、教職員配置、役割分担等の明示を行い、運用中である。情報システム化については、学籍簿等の履修システムの導入を行い、円滑に機能している。</p> <p>近年強化してるツイッター・インスタグラム・ユーチューブ等の SNS では、学校の行事、学生の様子、オープンキャンパスの告知・報告等の発信を継続中。インスタグラムのフォロワーは順調に伸長して 1,000 を超えているが、他 SNS はフォロワー数の鈍化が顕著であり、対策が急務と認識している。専修学校設置基準におけるコンプライアンスは、常に遵守しているところであるが、業界・地域社会を交えたコンプライアンスについては今後の検討課題である。</p> <p>情報公開についてはシラバスや講師一覧掲載内容を拡充し、情報発信を強化している。</p> |

## (3) 教育活動

| 評価項目   | H30 年度<br>自己評価 | R01 年度<br>自己評価 |
|--|----------------|----------------|
| ① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか                               | 4              | 4              |
| ② 教育理念、育成人材像等や業界のニーズを踏まえた学科の終業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4              | 4              |
| ③ 学科等のカリキュラムは体系的に編集されているか                                      | 4              | 4              |
| ④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発は実施されているか             | 4              | 4              |
| ⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携を考慮したカリキュラムの作成・見直し等が行われているか           | 4              | 4              |
| ⑥ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか      | 4              | 4              |
| ⑦ 授業評価に係る評価体制の確率、及び実施はなされているか                                  | 3              | 4              |
| ⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                  | 4              | 4              |

|   |   |   |
|---|---|---|
| ⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                            | 4 | 4 |
| ⑩ 資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                       | 4 | 4 |
| ⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                   | 4 | 4 |
| ⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか    | 4 | 4 |
| ⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 | 4 |
| ⑭ 教員の能力開発のための研修等が行われているか                                    | 4 | 4 |

| 自己評価  |
|---|
| <p>カリキュラムの編成は教育課程編成委員会の意見を受け、学校外部との積極的な交流、ワクワクする授業づくりをテーマにカリキュラムの見直しを進めている。学校外部との積極的な交流の観点では、卒業生による講演会やデモンストレーションの開催につながった。ワクワクする授業づくりの観点では、2年生と新入生の交流を深めるための二の丸講演への遠足や、学年合同のクリスマスパーティーの開催につながった。</p> <p>成績評価・進級卒業条件等は、学則及びシラバスに明記しているが、シラバスのHP公表により、カリキュラムの見える化や、成績評価の透明性がさらに高まった。来年度より運用が開始される高等教育無償化に対応するため、本年度は成績評価のさらなる厳格運用に努めていく所存である。</p> <p>職員研修としては、NPO 福祉理美容協会の認定校研修を実施し、全教員が福祉理美容師の資格保有に至った。</p> |

#### (4) 学修成果

| 評価項目                                    | H30 年度<br>自己評価 | R01 年度<br>自己評価 |
|---|----------------|----------------|
| ① 就職率の向上が図られているか                        | 4              | 4              |
| ② 資格取得率の向上が図られているか                      | 4              | 4              |
| ③ 退学率の低減が図られているか                        | 4              | 4              |
| ④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか            | 3              | 3              |
| ⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3              | 3              |

| 自己評価  |
|---|
| <p>就職率については、関連企業の協力や学校内部でのキャリア教育の充実により、過去数十年にわたり就職希望者 100%という実績を上げている。退学は1年次の1学期に多くみられ、要因は、学校生活不適応、進路選択の不適合等が多い。対策としては従来通りであるが、学生とのコミュニケーションの徹底、何でも相談しやすいアットホームな雰囲気づくりに教職員一同、努めている。</p> <p>卒業生については、学校への来校が多いため、その際に個別の聞き取りを行っている。卒業生に講演やレクチャー、コンテストの審査員等の依頼も行い、卒業生のモチベーションの向上と同時に在校生の意欲の高揚も図っている。</p> <p>しかし、美容業界は人材の流動性が非常に激しく、勤務先サロンが変わることも多いので、全体の把握は非常に困難である。卒業生の動向の把握につながる同窓会の運営を進めたいと考えており、現在試行中である。</p> |

## (5) 学生支援

| 評価項目                       | H30年度<br>自己評価 | R01年度<br>自己評価 |
|----------------------------|---------------|---------------|
| ① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか   | 4             | 4             |
| ② 学生相談に関する体制は整備されているか      | 4             | 4             |
| ③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか  | 4             | 4             |
| ④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか       | 4             | 4             |
| ⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか    | 3             | 3             |
| ⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか      | 4             | 4             |
| ⑦ 保護者と適切に連携しているか           | 4             | 4             |
| ⑧ 卒業生への支援体制はあるか            | 3             | 3             |
| ⑨ 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4             | 4             |

| 自己評価   |
|--|
| <p>進路・就職に関する支援体制は、1年次より計画的に実施している。卒業後、美容師を断念したり、離職する学生が多い現状を踏まえて、業界理解セミナー・職種理解セミナー等企業人事担当者・OB・OGを招聘、専門家の講義等を取り入れた職業の特性を学ぶ講義を実施している。</p> <p>平成30年度の求人数は800件を超え、就職率は平成31年3月末で100%となり、順調に推移している。</p> <p>各種学内説明会は、平成30年度は50件を超える企業の参加による学内説明会・ヘアショー・選考会が実施できた。</p> <p>学生相談は、各担当が、学期ごとに面談を行い、問題の早期発見・早期解決に努めている。学生の動向を全職員で見守り、問題を共有化する体制の整備が進んでいる</p> <p>経済的支援については、入学時に特待生推薦・指定校推薦などの学費免除を行う学費支援制度を行っている。昨年度は報奨金制度をさらに拡充し、学ぶ意欲の向上、及び経済的な負担の軽減に努めている。</p> <p>健康管理は、毎年の健康診断を実施している。近隣との連携として献血・近隣行事への参加・近隣清掃等を実施しているが地域住民に好意的に受け入れられていると共に学生にも好評である。</p> <p>最近では、近隣小学生の夏祭りのヘアメイクボランティアや、老人介護施設へのメイクボランティアなどを行い、学生の社会参加を促している。要請があればできる限り、協力参加を行ってゆきたいと考えている。毎週金曜日の近隣の清掃活動は、引き続き実施している。</p> <p>保護者については、学期ごとに学校行事の報告や試験結果の送付などを行っている。「遅刻・欠席・早退ゼロ運動」の実施により出欠確認の徹底を図ると共に、欠課時間数が多い学生、授業態度の怠慢な学生には、保護者面談を実施し、問題の共有化による早期解決を図ると共に、保護者との円滑な関係づくりを図っている。美容通信科では国家試験合格に向けて、きめ細かい指導を行っている。進学情報誌業者を介した出張授業等の活動も行っている。</p> |

## (6) 教育環境

| 評価項目   | H30年度<br>自己評価 | R01年度<br>自己評価 |
|--|---------------|---------------|
| ① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか          | 4             | 4             |
| ② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4             | 4             |
| ③ 防災に対する体制は整備されているか                          | 4             | 4             |

| 自己評価   |
|--|
| <p>教育設備・教室数は十分に整備されているが、来年度の建学100周年を前に、全館リニューアル工事を実施している。各階ごとにテーマ性を持たせ、従来の学校像を脱皮し、“外部に開かれた美容情報の発信拠点”を目指している。</p> <p>学内では、サロン現場を想定した相モデルでの実習を行う。インターンシップの実施により、職場訪問を実施し、美容室での美容師の仕事体験行うなどし、職業意識を涵養する。防災については、「緊急避難マニュアル」を整備し、それに沿った避難訓練を実施している。緊急に対応する体制の整備が行えている。本年度は、地震時の避難訓練も追加した他、10年ぶりの海外研修を実施する予定である。</p> |

## (7) 学生の受け入れ募集

| 評価項目                          | H30年度<br>自己評価 | R01年度<br>自己評価 |
|-------------------------------|---------------|---------------|
| ① 学生募集活動は、適正に行われているか          | 4             | 4             |
| ② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4             | 4             |
| ③ 学納金は妥当なものとなっているか            | 4             | 4             |

| 自己評価   |
|--|
| <p>学生募集活動は円滑に実施されているが、学生数の推移等のデータから更なる工夫改善が必要である。</p> <p>広報担当者は対象校及び担当者との人間関係を深め、誠意を持って対応することを念頭に意図的・実践的に具体的活動を実施してきた。このことにより対象学校から評価を得るに至っている。</p> <p>広報で得た信頼関係が具体的指導場面に連動する枠組みの作成や、対象校の詳細な現状を共有することにより教職員の相互理解を図る研修も今後実施したい。</p> <p>学納金については募集要項に明記している。</p> |

## (8) 財務

| 評価項目                       | H30 年度<br>自己評価 | R01 年度<br>自己評価 |
|----------------------------|----------------|----------------|
| ① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4              | 4              |
| ② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4              | 4              |
| ③ 財務について会計監査が適正に行われているか    | 4              | 4              |
| ④ 財務情報公開の体制整備はできているか       | 4              | 4              |

| 自己評価  |
|---|
| <p>法人化に伴い、借入金の整備ができ、財務基盤は安定していたが、熊本地震の校舎被害に伴い、昨年度は、震災関連費用がなくなったことによりわずかながら黒字転換。</p> <p>しかし、現状打破のため、また 100 周年を迎える記念事業として学校内部の改装を行いより魅力ある校舎づくりをするため借入金が発生する予定である。8 月 5 日より 3 カ月の改装工事が始まっている。</p> <p>経済的税理士の指導の下、予算計画・収支計画は妥当である。</p> <p>会計監査については適正に実施している。学校教育法の定める財務情報公開について準備を進めている。</p> |

## (9) 法令等の遵守

| 評価項目                            | H30 年度<br>自己評価 | R01 年度<br>自己評価 |
|---------------------------------|----------------|----------------|
| ① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4              | 4              |
| ② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか    | 4              | 4              |
| ③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 4              | 4              |
| ④ 自己評価結果を公開しているか                | 4              | 4              |

| 自己評価  |
|---|
| <p>個人情報保護規定に基づき、個人情報取り扱い規定を整備し、個人情報の取り扱いには特に留意している。</p> <p>自己評価・学校関係者評価は順次公開を継続中。</p> |

## (10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目  | H30 年度<br>自己評価 | R01 年度<br>自己評価 |
|---|----------------|----------------|
| ① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか                  | 3              | 3              |
| ② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 4              | 4              |
| ③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 3              | 4              |

| 自己評価   |
|--|
| <p>地域貢献としては、地域の献血活動、近隣の清掃活動等を実施し、地域住民との円滑な関係の構築が図れている。</p> <p>企業、美容室の美容技術講習会、美容用品商・美容組合の技術講習会、国家試験委員の打ち合わせ研修会等に学校を解放している。本年は、現役美容師の方向けのヘアカラー研修会や、NPO 法人福祉理美容協会の社会人向けの研修会、一般人を対象にした英語検定で会場提供している。</p> |